

滋賀県看護連盟だより

# おうみ

第 51 号

令和 6 年 2 月 10 日発行

発行／滋賀県看護連盟 発行責任者／力石 泉  
〒 524 - 0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルバ守山112B  
TEL. 077 - 514 - 1331  
メールアドレス shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp

## Contents

|                                 |                   |   |
|---------------------------------|-------------------|---|
| ご挨拶                             | 滋賀県看護連盟 会長 力石 泉   | 2 |
|                                 | 日本看護連盟 会長 高原 静子   | 2 |
|                                 | 滋賀県看護協会 会長 草野 とし子 | 2 |
| 国会議員活動報告                        |                   | 3 |
| 政策セミナー・支部研修会・ポリナビ報告             |                   | 4 |
| がんばっている滋賀                       |                   | 5 |
| 滋賀県看護協会・滋賀県看護連盟共催<br>看護管理者研修会報告 |                   | 6 |
| 地域包括ケア研修会報告                     |                   | 7 |
| 要望書提出・研修会予定・入会案内                |                   | 8 |

# ごあいさつ



滋賀県看護連盟  
会長 力石 泉

2024 年が明けてすぐの能登半島地震で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。家族で過ごしておられた方も多くおられたかと思うと心が痛みます。

去年は、滋賀県看護協会との連携強化により、看護連盟の組織強化を進めてきました。なかなか成果は見えませんが、少子高齢化の波に押しつぶされることなく、滋賀県独自で進めていける政策がないものかと、皆様の声をしっかり

聴くことの大切さを肝に銘じて引き続き活動していきます。今年度の地域包括ケア研修会では、県内選出の国会議員、県議会議員の方にご参加いただき政策としても議論することができました。

看護職が生き生きと働ける環境整備のため、地域包括ケアの実現のため、皆様の声を今年もたくさん聞かせてください。どうぞよろしくお願いいたします。



日本看護連盟  
会長 高原 静子

新年のご挨拶を申し上げます。

辰年の幕開けと同時に、能登半島を襲った大規模災害。ここに亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災された全ての方々に心からのお見舞いを申し上げます。また、被災地域で支援活動に尽力されている会員、看護職の皆さまに敬意と感謝を表します。

そして、今なお新型コロナウイルス感染症の最前線で対応していただいている看護職の皆さまに改めて感謝と敬意を表します。

2024 年は十二支の中で唯一の架空の生き物である「龍」辰年です。古来より人智を超えた自然の大きな力への畏敬を象徴する存在とされてきました。会員の皆様にはどんな抱負を胸に新しい年を迎えられたのでしょうか。看護連盟は 2024 年も変わることなく、「現場の問題」を看護政策としてその実現に向け活動し、「看護連盟があってよかった」と存在意義が実感できる組織作り、活動を目指してまいります。

さて、2024 年は時期不明ですが衆議院選挙の年になることでしょう。そして、組織内候補予定者「石田まさひろ参議院議員」の後援会も発足いたしました。現在の 4 人の看護職国会議員が一人も欠けることなく活動していただけるよう皆で協力し合ひましょう。



滋賀県看護協会  
会長 草野 とし子

新しい年の幕開けを喜びとともに迎えたのですが、その 1 月 1 日に能登半島地震が発生し甚大な被害が出ております。亡くなられました方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。被災地の皆さまが一日も早く平安な日々を取り戻していただけることを祈念しています。

本会では、1月6日から県内の看護職の皆さまのご協力のもと、石川県に災害支援ナースの派遣を行っております。DMAT や公衆衛生分野・介護分野からも、多くの看護職の方が現地での支援を行っていただいております。現地の状況は大変厳しく、被災者の皆さまはご苦労されていますし、支援ナースの方にも寒い中そして日々状況が変わる中で、ご苦労いただいております。現地で活動していただいている皆さまや派遣していただいている所属の皆さまに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

当協会の合言葉は、三方よし精神で“看護の力で滋賀を元気に”です。看護連盟と共に、三方よし精神で活動することで「人々の命とくらしを守る看護職能団体」の役割を発揮することができると思います。今年も協働してよろしくお願いいたします。

皆さまにとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

# 国会議員の活動報告



衆議院議員  
あべ 俊子

謹んで初春のお喜びを申し上げます。

この度の思いがけない能登半島地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

昨年 12 月には皆様のご支援のもと、文部科学副大臣を拝命し、子どもたちの心身を健やかに伸ばすことができる教育文化科学行政に全力で取り組んで参ります。

また、世界情勢の変動、コロナ禍で拡大した DX 等多くの事柄が急速に変化しています。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進に繋ぐ方法を常に考えています。

時代が大きく動くなか、いつの時も政策立案の基本となるのは現場の声です。

人や社会を支える看護が、時勢に基づき変革する事を皆様と共に支えて参りたいと存じます。より一層のご指導宜しくお願い申し上げます。



あべ俊子政経セミナー



看護師の方々と  
勉強会



衆議院議員  
たかがい恵美子

初春の穏やかな日中に皆様の健康とご多幸を祈りながら、スタートダッシュ

ユで職務に臨んでおります。

看護職の皆様には平素変わらぬご厚情を賜り、加えて能登半島地震被災地へのご支援をいただき、深く敬意を表します。寒冷の中、過酷な環境下で復旧活動にあたる皆様へ心から感謝を申し上げます。狭隘道路や傾斜地を縫っての救難救助には従来の経験を超える困難が伴います。一刻も早い生活再建に向け、より広範囲に手厚い支援体制の構築を進めて参ります。

また党におきまして、政策研究会における政治資金不適切取扱い事件を端緒に、健全な政治刷新のための 79 条機関が設置され、高階は本部幹事に指名されました。1 月 11 日の初会合で「一人一人が解体的な出直しをする覚悟を持って誤りを正し、国政の健全化に資する制度整備を急ぎ、公明正大に共感と信頼の得られる政治活動ができるよう切磋琢磨したい」と抱負を述べました。

何時いかなる状況にあっても看護職らしく実践を科学する専門性を活かし、努力を惜しまず自らの使命を果たして参ります。



政治刷新本部



復興特別委員会  
(委員長)



参議院議員  
石田まさひろ

滋賀県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

また、1 月 1 日に発生した能登半島地震において被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「看護師等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が 31 年ぶりに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

国会においては、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。

本年も引き続き、現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。



女性局長代理



予算委員会



参議院議員  
とものう りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、この度の地震により

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出していただいてから約 1 年半、参議院の委員会などで、看護職の処遇改善、人材確保、医療現場のハラスメント、業務効率化、医療安全、訪問看護の推進等を訴えて参りました。その結果、医療職俸給表の改正、人確法に基づく基本指針の改定、骨太の方針への「訪問看護の推進」の記載、看護補助者の処遇改善など一定の動きもありました。また、看護多機能の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護出身の弁護士として看護関連の法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず全力で取り組みます。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



厚生労働委員会にて  
質問



岸田首相へ申入れ

## 2023 年度 近畿ブロック協議会看護管理者等政策セミナー

目的 日本看護連盟の組織強化・拡大に向けて、連盟活動の推進力を高める

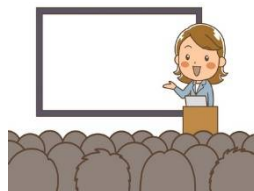
日時 2023 年 11 月 4 日 13:30~17:30 11 月 5 日 9:30~15:00 ホテルアウィーナ大阪

滋賀県看護連盟から役員 7 名、滋賀県看護協会から役員 3 名が参加し、近畿全体で 58 名が参加しました。懇親会には、滋賀県議会議員の重田剛氏と井狩辰也氏にご参加いただき交流を深めることができました。

### 「初めて政策セミナーに参加して」 湖西地区支部長 マキノ病院 笠島智美

私自身、令和 5 年度から湖西地区支部長をさせていただいていますが、支部長としてどんな活動をすればいいのかわからず、まずは滋賀県看護連盟の活動で自身が参加できるものはできるだけ参加して、今後支部長としての活動に活かすことができればと思い参加しました。

1 日目は、看護協会・看護連盟の政策と事業。DX の進展により看護はどう変わるのか講義を受け、今まで私の中で看護と DX が結びつきませんでしたが、今後高齢化が進み、働き手が減少する中で、デジタル化やロボットを利用しながら DX と協働していかなければならない時代は、近い未来に実現するんだなあと思いました。2 日目の他府県の看護管理者の方々とのグループワークや交流会で話すことで、今後看護連盟推進力を上げるために、まずは看護管理者が変わり行動していくことが重要だと感じました。



## 2023 年度 大津・湖南・甲賀合同地区支部研修会

目的 現場の事例を通して医療事故事例の分析の考え方を学ぶ

日時 2023 年 12 月 9 日 9:30~12:30 淡海医療センター

「現場の声の把握と改善」に向けて昨年に続いて「安全管理」を目指して医療安全研修会を開催しました。



### 「医療安全研修会を開催して」

湖南地区支部長 淡海ふれあい病院 川田節子

3 地区支部合同の医療安全研修会を前年度に引き続き医療安全アドバイザーの砂口美智子先生に依頼し、「医療事故事例の分析の考え方」というテーマで開催しました。研修の対象参加者は砂口先生の意向により医療安全管理者や病院の管理者でした。砂口先生は常に「医療安全の現場を仕切っているのは管理者のため、一番重要な管理者に理解をしてもらいたい」と言われていました。参加者は 37 名で看護師長が 13 名と多く、スタッフの参加者も 7 名でした。感想としてグループワークを行なうことでより分析方法を学ぶことができた。また、医療安全管理者として働く中で他病院の医療安全管理者と話し合う機会がないため、とても有意義な時間を持てたという嬉しい意見もありました。

先生の講義の中で特に印象に残ったのは「感性を大事に」でした。またリスク感性(潜んでいるリスクを感じ対応する)を更に磨き、変化に気付く能力を養わなければと思いました。今回の医療安全研修会を通して、看護連盟の活動に少しでも触れていただき一人でも多くの連盟会員の増加に繋がる活動が今後も重要だと感じました。

## 12 月 2 日 『第 14 回ポリナビワークショップ in 奈良』に幹事の玉城さんと門野さんが参加！

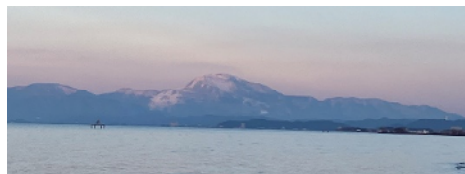
### 「ポリナビワークショップ in 奈良に参加して」

パストラルとよさと 玉城邦明

卒後 1 年～5 年目の看護職対象の研修で「看護連盟とは」と題し、日本看護連盟幹事の岡山亮憲氏が、日本看護協会と日本看護連盟の役割と活動内容について講演され、コロナ禍で処遇改善につながった経緯をわかりやすく話されました。第 2 部は、石田まさひろ参議院議員が国政報告をされました。「日本看護協会は、国の政策方針に基づいた重点政策を考え、現場の課題の根拠を統計的に集め、それを基に日本看護連盟が政治活動(看護職代表国会議員)を通して、様々な法案を他の国会議員にも説明してお願いすることで看護の働く環境や処遇改善につながっている」と説明されました。意見交換もでき青年部の活動に対しても多くの刺激を受けました。

# がんばっている滋賀

「障害をもつあらゆる人に暮らせる場と生きがいをも！」と活動する人たちを紹介します！



2023年10月発行の看護連盟広報誌を読んだ精神科の医師と看護師から「ヴォーリズ記念病院の就労移行支援事業所を見学したい」と看護連盟に電話がありました。

所長に連絡し、11月28日10時、豊郷病院の精神科医師1名、看護師3名、看護連盟から1名同行し見学することができました。就労移行支援事業所ワークステーションヴォーリズの向所長の説明を受け、公認心理士・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士等の免許をもつ職員の方々に会うことができました。



引きこもりや不登校の若者や学生の親は、自立を望んでいる。就労支援センターを紹介して見学してほしいな。



働く場もみつきたいが、住む場所の確保も難しくなっている。自立できる力をもっているにもかかわらず、受け入れる場所・環境をもっと作らなければと感じている。障害をもつ人たちが、さまざまなことに挑戦して持てる力を発揮できる場が必要だと思う。



利用者の表情を見ると皆生き生きとしている。やることがある、認めもらえる仲間がいる、生きがいをもてるなどまさに自立支援だと感じた。



## 「就労移行支援事業所ワークステーションヴォーリズを見学して」 豊郷病院 精神科病棟 金丸貴行

患者は、入院生活の中では就業がイメージしづらく、就業意欲も育みにくいと感じています。病気がありながらもその能力は未知数であり、作品作り等でその才能を発揮する方もあり個々の能力を活かすことはできないものかと考えている折に、ワークステーションの情報を得て見学させていただきたいと考えました。

ワークサンプル活用による疑似体験や就業課題の把握のほか、体力作りの一環としてフィットネス利用が可能となっていました。対人スキルを学ぶ場もあり、病状管理の上で重要となるストレス緩和において重要だと感じました。就業後6か月間のサポートもあり、定着支援も充実していました。ステーション内はとても明るく清潔感があり、職員、利用者共に明るく生き生きされていたのが印象的でした。休職や卒業を控えている就学期の患者に対する提案内容として新しい知識として学ぶことができました。体験も可能なので、入院中の利用により就業イメージをもつことで意欲が高まり、新たなスキルの開発や発見につながる機会になるのではと考えました。

## 2023 年度 滋賀県看護協会・滋賀県看護連盟共催 看護管理者研修会

テーマ 「看護の課題と未来 ～看護管理者としてこれからのマネジメントを考える～」

目 的 滋賀県の看護現場の共通課題から、自らの組織の課題を考える

看護職が生き生きと働き続ける未来を想像し、具体的なマネジメントについて考える

日 時 2023 年 12 月 17 日 13:00～17:00

場 所 滋賀県看護研修センター 参加者 59 名

内 容 講 演 1 「滋賀県の看護職が今知っておくべき看護政策」

講師: 滋賀県看護協会 会長 草野とし子氏

講 演 2 「滋賀県の看護現場の特徴と課題」

講師: 元滋賀県立大学人間看護学部 教授 豊田久美子氏

講 演 3 「2040 年に向けた看護の課題と未来」

講師: 参議院議員 石田昌宏氏

意見交換 「看護職が働き続けるための環境づくりの工夫」



### 看護職が働き続けるための環境づくりの工夫（意見交換でのまとめ）

職場環境の工夫: 心理的安定性のある関係性、コミュニケーションの推進、気配りができる人の育成、フレックスタイムの導入、休日の給与アップ等離職防止、リリーフ体制の基準作り、業務負担の軽減

看護の魅力・やりがい感の発信: 管理者がポジティブに元気である、ナラティブの活用、時短勤務者のラダー参加、長期休養者(産休・育休等)の現場復帰の負担軽減、生涯学習支援の検討

プラチナナースの活用: プラチナナース個々の意見をよく聞き仕事内容や働き方を決める、指導方法も話し合いをして双方の負担を軽減する

その他: 子育て世代以外の看護職に寄添う対策、急な夜勤変更等柔軟な対応への手当、制度の丁寧な説明

アンケート結果より 参加者背景: 40代 38%・50代 55% 病院 79%

看護の未来のために取り組めること: 見つけられた 80.5%

〈取り組める具体的内容〉 一部抜粋

- \* 人材確保に難渋しているが、大切なのは今の業務の見直し! 楽しくワクワクと取り組める工夫を考える
- \* チーム構成員の能力の違いを前提にして部署目標を考える
- \* 無駄を省き新たな働き方を考え、利用者の思いに寄り添える看護を提供していく
- \* 患者さんのことを考えて、看護師・看護補助者がどうすれば協働していけるか取り組む

### 「管理者研修会に参加させていただいて」

長浜市立湖北病院 看護局長 南部里香

少子超高齢化、生産人口激減、看護職員をいかに維持していけるか…看護の管理者として社会の動向を確認しながら社会の流れに沿って、柔軟に対応していかなければならないと感じました。これからの看護を考え、垂直連携から水平連携、網の目の連携…ぐると、一人の人間を看ていける体制の仕組みづくりが必要となることを学ぶことができました。人の人生を富士山に例え、「看護はその人の富士山を応援することである」「一人ひとりの富士山、自分自身の富士山を大切に」豊田先生からのメッセージに大変感銘を受けました。

2040 年問題を見据え、魅力ある看護職にしていくためには、まず、私たち管理職が生き生きと、誇りとやりがいをもって働くことが何より大切であると、グループワークも盛り上がりました。さらに草野会長、石田議員からは看護政策の必要性、重要性を学ぶことができ、半日ではありましたがとても有意義な研修でした。ありがとうございました。

## 2023 年度 滋賀県看護連盟 地域包括ケア研修会

テーマ 「地域包括ケアシステムの視点から認知症対策を考える

～病院におけるせん妄発症・せん妄対応の事例報告から～

目 的 滋賀県の病院におけるせん妄発症・せん妄対応の実態から課題を明確にする

課題から、自施設における対策、県全体での対策を考える

滋賀県議会議員、滋賀県選出の国会議員と滋賀県の認知症の実態を共有する

日 時 2024 年 1 月 27 日 13:00～16:40

場 所 滋賀県看護研修センター

参加者 78 名

来 賓 衆議院議員 大岡敏孝、上野賢一郎、武村展英、小寺裕雄(代理)

(敬称略) 参議院議員 小鍵隆史(代理)

滋賀県議会議員 奥村芳正、海東英和、川島隆二、桐田真人、重田剛、白井幸則、周防清二

菅沼利紀、田中英樹、目片信悟

内 容 基調講演「認知症とせん妄について」 長浜市立湖北病院 認知症看護認定看護師 馬場直哉氏

事例報告「急性期病棟でのせん妄・認知症の事例」 淡海医療センター 病棟師長 牧村由香理氏

事例報告「地域包括ケアシステムの視点から認知症対策を考える

～回復期・慢性期病院の実態と活動～」

南草津病院 看護部長 西村寿加代氏

事例報告「認知症ケアとせん妄対策の取り組み～患者・家族を地域と共に支えるために～」

豊郷病院 認知症看護認定看護師 堀尾素子氏

調査報告「せん妄発症・せん妄対応の実態から認知症対策を考える」 滋賀県看護連盟 力石 泉

質問・意見交換



事例報告と調査報告のまとめから

### 【課題】

1. せん妄発症リスクのアセスメントが不十分であり、せん妄を発症してから対応が多い。
2. せん妄発症後、個別の対応をしたいが人員配置上できないことが多い。
3. 多職種と協働しながら、院内のケアの質を向上させることができるリーダーとしての認知症看護認定看護師不在の病院は多い。全国での養成教育機関は少ない上に、育成のための様々な条件をクリアすることも困難な状況にある。

### 【今後の対策】

1. せん妄発症リスクの高い患者のせん妄発症予防対策を立案するため、入院前情報を得る等、地域連携を強化する。
2. 患者の不安除去や見当識の維持に向けてタイムリーにケアできる人材を確保して、せん妄の発症をできるだけ予防すると同時に、せん妄発症した場合は早期回復を促す。
3. 認知症看護認定看護師が中心となって組織横断的に動ける体制を整備するために、県内で認知症看護認定看護師養成の教育機関を開設する。

現場の皆さんの事例報告には、会場からうなづきと共に共感の様子を多く見受けました。院内デイ、転倒予防対策、意思決定支援等具体的な質問もでました。参加議員からは、日本は何が遅れているのかの質問や意見をいただきもっと時間があればさらに意見交換できたのではと感じました。Web アンケート結果は現在集集中です。調査結果や研修会での意見交換、アンケート結果など含めて、滋賀県看護連盟のホームページに公開したいと考えています。今後に活用していただくと嬉しいです。

## 滋賀県選出の国会議員へ要望書提出

2023年12月滋賀県選出の国会議員(衆議院4名、参議院1名)の方を直接訪問し、看護協会草野とし子会長と共に要望書を提出しました。現状報告、意見交換等を行いました。

### 要 望 事 項

1. 物価高騰に苦しむ医療機関、訪問看護事業所、介護保険施設、事業所等の経営を支援し、すべての看護職員の処遇改善が可能となるよう、必要な財政措置を講じられたい。
2. 令和6年度診療報酬改定において、「看護職員処遇改善評価料」の対象をすべての看護職員に拡大するとともに、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定において同様の措置を講じられたい



## 受賞おめでとございます

令和5年 秋の叙勲

瑞宝単光章 堀池公子さん  
(ひかり病院 看護部長)



## 今後の研修会開催予定

### 2023年度 滋賀県看護連盟 全体支部研修会

日 時:2024年2月23日(金) 9:30~12:10

場 所:守山駅前コミュニティホール 第1ホール

対 象:テーマに関心のある看護職

テーマ:私のこころとからだの健康づくり

~看護職として元気にやりがいをもって働き続けるために~

#### 第1部

講演:「自分の心への向き合い方と他者のこころへの寄り添い方」

講師 チャプレン 笠原 俊典 氏

#### 第2部

運動とフィットネスのセッション

~疲れをためない日々の体の労わり方~

講師 姿勢改善専門スタジオ Be-Style 宮嶋 あかり 氏

### 2024年度

### 入会受付が始まりました

看護の力を結集し、現場の声を国政に届けよう!  
あなたの入会をお待ちしています!

#### 年会費

日本看護連盟会費 5,000 円

滋賀県看護連盟会費 4,000 円 計 9,000 円

#### 賛助会員 年会費 1口 500 円

看護連盟の主旨にご賛同いただける方であれば  
どなたでも入会できます。

#### 学生会員 年会費 無料

看護師または准看護師の資格を得るために就学  
している看護学生で、看護連盟の主旨にご賛同  
いただける方であればどなたでも入会できます。

入会のお問い合わせは滋賀県看護連盟まで!

Tel. 077-514-1331

E-mail shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp

### 編集後記

ドキュメント 72 時間で紹介された「あのベンチ」はわが  
家から車で 10 分程。あのベンチに座ってみると、びわ湖と  
湖西から湖北の山並みと空だけの景色! 時折飛んでくる  
鳥に出会うだけ! 自然の中のちっぽけな私を優しく包み込  
んでくれました。滋賀県最高!! (I.C)

私たちは、働く皆様を  
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について  
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛関西販売株式会社

〒612-8429 京都府京都市伏見区竹田西段川原町 103

京都営業所

0120-104-046